

教育委員会事務点検・評価 アクションプラン(抜粋版)【生涯学習分野】

※進捗状況が「遅れ」「休止」となっているものだけを抜粋

「休止」: 事業を休止し、次年度以降に再び実施する予定のもの【2事業】

別紙2-2

【施策1-2】	No.	事業名	新規・拡充項目 継続	H27末 (現状値)	H28末 (実績)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (実績)	進捗 状況	進捗状況「休止」の理由と今後の取組み
報告書(案) P69、71	6	中央図書館・生涯学習センター等の改修	南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館 受水槽更新工事	-	-	実施設計、 工事	工事完了済	-	休止	南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の受水槽更新工事については、緊急性が低いとの判断から、改修の実施を先送りとした。

【施策2-1】	No.	事業名	新規・拡充項目 継続	H27末 (現状値)	H28末 (実績)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (実績)	進捗 状況	進捗状況「休止」の理由と今後の取組み
報告書(案) P73-74	2	文化財の保存・活用の推進	ゆかりの家・いなげの改修	-	-	外壁等腐食箇所修繕、 電気設備工事	外壁等腐食箇所修繕、 電気設備工事完了	-	休止	ゆかりの家・いなげは、地域有形文化財としての価値を損うことがないよう、緊急性を考慮しながら適切な補修を行っていく。
			旧検見川無線送信所の修繕	屋上防水実施設計	屋上防水改修工事完了	屋上防水及び外壁補修工事	屋上防水及び外壁補修工事完了	屋上防水改修工事完了 (H28実績再掲)	休止	旧検見川無線送信所は、当該建物を含む区画整理地の土地利用等の検討及び計画策定の間は、建物の劣化状況を注視しつつ、現状維持に努める。

【施策2-2】	No.	事業名	新規・拡充項目 継続	H27末 (現状値)	H28末 (実績)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (実績)	進捗 状況	進捗状況「遅れ」の理由と今後の取組み
報告書(案) P77、80	6	未来の科学者育成プログラムの充実	ジュニア講座の充実	実施	拡充	拡充	拡充	実施(受講者数減)	遅れ	「遅れ」の理由としては、募集チラシの配布が各小学校の5、6年生の学級数分だったため、保護者の目に触れにくかったことが考えられる。来年度は各小学校の5、6年生の児童数分を配布し、保護者への認知度を上げるようにする。また、児童のニーズに沿った講座を準備するため、保護者アンケートでも希望があった野外観察を取り入れた新規講座を30年度に千葉市動物公園にて立ち上げる。ジュニア講座の受講生が未来の科学者を目指す意欲を高めるとともに、中・高生対象の未来の科学者育成プログラムの受講につながるように努める。また、30年度秋の講座より、募集を電子申請でも対応するようにする。
報告書(案) P77、81	8	放課後子ども教室の推進	実施日数	21.2日/校 (H26)	19.8日/校	30.0日/校	前半3ヵ年の取組状況を踏まえ、見直し時に設定	19.8日/校	遅れ	高齢化や共働き世代の増加により協力員等の担い手が不足する中、安全管理やプログラム開発等での地域への負担が増大し、実施日数が伸び悩んでいる。企業等による質の高い継続プログラムを実施するとともに、総合コーディネーターによる活動支援を継続し、実施日数の増加を図る。また、「(仮称)放課後子どもプラン」を策定し、今後の事業展開の方向性を示す。
報告書(案) P78、81	9	子ども読書活動の推進	読書習慣のある児童生徒の割合(中学2年生)	46.9% (H26)	44.4%	49.0%	52.5%	44.5%	遅れ	「まほうの読書ノート」の配布時期の前倒しなど、適宜子どもの読書活動の推進事業の見直しを行う。また、職場体験の受け入れや団体貸出、図書館指導員の研修会への出席など、学校との連携をさらに強め、中学生の読書習慣の形成に努める。
報告書(案) P78、81	11	家庭教育支援事業の実施	「子育てママのおしゃべりタイム」の実施館数	21館 (H26)	22館	28館	28館	22館	遅れ	当該事業の担い手である子育てサポーターの登録状況や地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数や場所を調整していく。

【施策3-1】	No.	事業名	新規・拡充項目 継続	H27末 (現状値)	H28末 (実績)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (実績)	進捗 状況	進捗状況「遅れ」の理由と今後の取組み
報告書(案) P83-84	2	ボランティアの育成	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数	1,634人 (H26)	1,635人	1,850人	2,000人	1,697人	遅れ	新規の登録がある反面、高齢による登録抹消の申請もあるため、目標値に達していない状況である。ボランティアを紹介するイベントの実施や、ボランティアコーディネート件数を増やすことで、ボランティアの活動機会を増やし、ボランティアセンターへの新規登録者の獲得に努め、高校生・大学生などの若年層や現役世代の登録促進を図る。
	3	家庭教育支援事業の実施(一部再掲)	家庭教育支援チーム数	2チーム (H26)	2チーム	4チーム	4チーム	2チーム	遅れ	構成員の高齢化が進んでいたが、子育て現役世代の協力者が4人増え、チーム数は昨年度と同様になっている。広報PRに努め、参加者を含めより幅広く参画を働きかけていく。

【施策3-3】	No.	事業名	新規・拡充項目 継続	H27末 (現状値)	H28末 (実績)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (実績)	進捗 状況	進捗状況「遅れ」の理由と今後の取組み
報告書(案) P90-91	1	多様な主体による学習活動の推進	公民館、生涯学習センターにおいて多様な主体と連携して実施した事業数	103事業 (H26)	114事業	115事業	120事業	109事業	遅れ	平成29年度の実施事業数は、平成28年度の現状値から減少したものの、平成27年度の現状値からは上昇しているため、引き続き、NPO法人や高等教育機関、社会教育関係団体等の多様な主体と連携した学区集活動を推進していく。